

令和4年度 第2学年 国語科 年間指導計画・評価計画(年間140時間)

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・課題意識をもって話を聞いたり、文章を読んだりして、自分のものの見方や考え方を深める。 ・自分の考えを明確にし、目的や場面に応じて話したり、論理的に文章を書いたりすることができる。
----	---

評価の観点 知・技 知識・技能 思・判・表 思考・判断・表現 主 主体的に学習に取り組む態度

月	題材名●学習目標	時	単元のねらい	評価規準	評価方法
4	名づけられた葉【読む(詩)】◇ ●詩のリズムを感じ取りながら音読し、表現の効果について考える。(Cエ) ●詩にこめられたものの見方を捉える。(Cオ)	3	1 詩のリズムを感じ取りながら音読し、表現の効果について考える。 2 詩にこめられたものの見方を捉える。	知・技 類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) 思・判・表 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。(Cオ) 主 進んで自分の考えを広げたり深めたりし、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	観察 テスト 音読 暗誦 ワークシート スピーチ 提出物 作文 ワーク
	セミロングホームルーム 【読む(小説)】 ●人物の設定の仕方を捉え、表現や構成の工夫とその効果について考える。(Cア、Cエ) ●作品を読んで考えたことを共有し、自分の考えを広げたり深めたりする。(Cオ)	4	1 作品を読んで感じたことを共有する。 2 人物の設定の仕方を捉える。 3 人物の言動の意味や役割について考える。 4 表現や構成の工夫とその効果について考えを深める。	知・技 情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。((2)イ) 思・判・表 「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉えている。(Cア) 主 進んで登場人物の設定の仕方などを捉え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	
	言葉発見①敬語の意味と種類 ●敬語のはたらきについて理解し、使う。(知・技(1)カ)	1	1 「丁寧語」「尊敬語」「謙譲語」の違いを理解する。 2 「確かめよう」の課題に取り	知・技 敬語のはたらきについて理解し、話や文章の中で使っている。((1)カ) 主 進んで敬語のはたらきについて理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	
5	グループディスカッション☆ 互いの考えを尊重しながら話し合いを深める【話す・聞く】 ●互いの立場や考えを尊重しながら話し合いを深めるための方法を理解し、活用する。(Aオ) ●相手の考えと比較しながら聞き、自分の考えをまとめる。(Aエ)	4	1 互いの立場や考えを尊重しながら話し合いを深めるための方法を理解する。 2 話し合いを深めるための方法を、グループディスカッションで活用する。 3 相手の考えと比較しながら聞き、自分の考えをまとめる。	知・技 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) 思・判・表 「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。(Aオ) 主 積極的に互いの立場や考えを尊重しながら、学習の見通しをもって議論や討論をしようとしている。	
	漢字を身につけよう① ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)ウ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ	知・技 第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)ウ) 主 進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	
6	発展的な論の展開 じゃんけんは、なぜグー・チョキ・パーの三種類なのか【読む(説明)】 ●文章の構成や論理の展開の仕方を捉える。(Cエ)	1	1 文章の構成や論理の展開の仕方を捉える。	(※「人間は他の星に住むことができるのか」と合わせて評価する。)	

月	題材名●学習目標	時	単元のねらい	評価規準	評価方法
7	人間は他の星に住むことができるのか【読む(説明)】 ●主張と例示との関係に着目して読み、内容を理解する。(Cア) ●文章を読み、構成や論理の展開とその効果について考える。(Cエ)	4	1 主張と例示との関係に着目して読み、内容を理解する。 2 文章の構成や論理の展開、その効果について考える。 3 筆者の考えを捉え、話し合っって自分の考えを深める。	【知・技】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) 【思・判・表】「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。(Cエ) 【主】進んで文章の構成や論理の展開について考え、学習課題にそって理解したことや考えたことを説明しようとしている。	観察 テスト 音読 暗誦 ワークシート スピーチ 提出物 作文 ワーク
	手紙・メール◇ 心をこめてわかりやすく書く【書く】 ●相手に伝えたい事柄や気持ちを明確にして、手紙の形式をふまえて書く。(Bイ) ●内容が正しくわかりやすく伝わるように、読み手の立場に立って読み返し、文章を整える。(Bエ)	4	1 伝える相手を決め、伝えたい事柄や気持ちを明確にする。 2 手紙の形式をふまえて下書きをする。 3 読み手の立場に立って読み返し、推敲して文章を整える。 4 丁寧に清書し、確認して投函(送信)する。	【知・技】敬語のはたらきについて理解し、話や文章の中で使おうとしている。((1)カ) 【思・判・表】「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。(Bエ) 【主】粘り強く表現の効果などを確かめ、学習の見通しをもって伝えたいことを相手や媒体を考慮して書こうとしている。	
	言葉発見② 言葉のはたらきとコミュニケーション ●言葉には、相手の行動を促すはたらきがあることに気づく。(知・技(1)ア)	1	1 相手に何かをはたらきかけるときの表現の仕方や配慮の示し方について考える。 2 「確かめよう」の課題に取り組む。	【知・技】言葉には、相手の行動を促すはたらきがあることに気づいている。((1)ア) 【主】進んで言葉のもつ相手の行動を促すはたらきについて気づき、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	
	漢字を身につけよう② ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)ウ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。	【知・技】第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)ウ) 【主】進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	
	短歌の世界／短歌十首 【読む(解説/短歌)】 ●短歌のリズムや表現方法などの特徴をもとに、短歌についての理解を深める。(Cエ) ●情景や心情を表す語句に注意して、短歌を読み味わう。(Cオ)	3	1 短歌のリズムや表現方法などの特徴を捉える。 2 情景や心情を表す語句に注意して、短歌についての理解を深める。 3 表現の工夫や効果をふまえて考えを伝え合い、自分の考えを広げたり深めたりする。	【知・技】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) 【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。(Cオ) 【主】進んで知識や経験と結びつけ、学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。	

月	題材名●学習目標	時	単元のねらい	評価規準	評価方法
	<p>短歌・俳句 表現の仕方を工夫して豊かに表す【書く】</p> <p>●情景や感動が伝わるように、表現を工夫して書く。(Bウ)</p> <p>●作品を読み合い、表現の工夫などについて意見を交流する。(Bオ)</p>	5	<p>1 題材を選び、短い文章を書いて言葉を取り出す。</p> <p>2 情景や感動が伝わるように、表現を工夫する。</p> <p>3 短歌とはじめの短い文章とを比べ、推敲する。</p> <p>4 作品を読み合い、表現の工夫などについて意見を交流する。</p>	<p>[知・技] 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ)</p> <p>[思・判・表] 「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(Bオ)</p> <p>[主] 粘り強く文章のよい点や改善点を見だし、学習の見通しをもって短歌や俳句を創作しようとしている。</p>	
	<p>文法の窓 1 文法のまとめ</p> <p>用言の活用</p> <p>●用言の活用について理解する。(知・技(1)オ)</p>	3	<p>1 「文法の窓 1」で動詞、形容詞、形容動詞が後ろにつく語によってどのように形を変えるか考える。</p> <p>2 「文法のまとめ」1「用言の活用」で、用言の活用について理解する。</p> <p>3 「確認しよう1」の課題に取り組む。</p>	<p>[知・技] 単語の活用について理解している。((1)オ)</p> <p>[主] 進んで単語の活用について理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。</p>	
	<p>壁に残された伝言【読む(報告)】◇★</p> <p>●文章の全体と部分との関係に着目して読み、内容を理解する。(Cア)</p> <p>●文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりする。(Cオ)</p>	3	<p>1 文章の全体と部分との関係に着目して読み、内容を理解する。</p> <p>2 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつける。</p> <p>3 筆者の思いをもとに、自分の考えを広げたり深めたりする。</p>	<p>[知・技] 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ)</p> <p>[思・判・表] 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。(Cオ)</p> <p>[主] 進んで知識や経験と結びつけ、学習課題にそって理解したことや考えたことを説明しようとしている。</p>	
	<p>私の読書体験</p> <p>生涯の友と出会う【読む】</p> <p>●本には、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、読書をおとして自分の考えを広げたり深めたりする。(知・技(3)エ, Cオ)</p>	2	<p>1 教材文を読み、感想を交流する。</p> <p>2 本を選んで読み、自分の考えを広げたり深めたりする。</p>	<p>[知・技] 本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。((3)エ)</p> <p>[思・判・表] 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。(Cオ)</p> <p>[主] 進んで自分の考えを広げたり深めたりし、学習したことを生かして本や新聞、インターネットなどから集めた情報を活用しようとしている。</p>	
	<p>漢字を身につけよう③</p> <p>●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)ウ)</p>	1	<p>1 中学校で学習する漢字を読む。</p> <p>2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。</p>	<p>[知・技] 第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)ウ)</p> <p>[主] 進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。</p>	<p>観察</p> <p>テスト</p> <p>音読</p> <p>暗誦</p> <p>ワークシート</p> <p>スピーチ</p>

月	題材名●学習目標	時	単元のねらい	評価規準	評価方法
9	<p>1〇〇年後の水を守る【読む(評論)】★</p> <p>●文章と図表などを結びつけて、筆者の考えを捉える。(Cウ)</p> <p>●文章を読んで理解したこと、知識や経験とを結びつけて、自分の考えを広げる。(Cオ)</p>	4	<p>1 本文を読んで内容を捉える。</p> <p>2 文章と図表を結びつけて内容を捉え、図表の効果を考える。</p> <p>・図表が果たしている役割について、本文との対応に着目して考える。</p> <p>3 筆者の考えを捉え、話し合っって自分の考えを深める。</p> <p>4 文章を読んで理解したこと、知識や経験とを結びつけて、考えを広げる。</p>	<p>[知・技] 情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。((2)イ)</p> <p>[思・判・表] 「読むこと」において、文章と図表などを結びつけ、その関係をふまえて内容を解釈している。(Cウ)</p> <p>[主] 進んで文章と図表などを結びつけて内容を解釈し、学習課題にそつて考えたことを文章にまとめようとしている。</p>	提出物 作文 ワーク
	<p>言葉発見③上位語・下位語</p> <p>●上位語・下位語の関係について理解を深める。(知・技(1)エ)</p>	1	<p>1 上位語・下位語の関係について理解を深める。</p> <p>2 「確かめよう」の課題に取り組む。</p>	<p>[知・技] 抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ)</p> <p>[主] 進んで抽象的な概念を表す語句の量を増し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。</p>	
	<p>プレゼンテーション資料や機器を活用して効果的に発表する【話す・聞く】</p> <p>●社会生活の中から題材を探し、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫する。(Aア, Aイ)</p> <p>●話し手の意図や話の内容をわかりやすく伝えるために、資料や機器を効果的に活用して表現を工夫する。(Aウ)</p>	5	<p>1 社会生活の中から題材を決め、内容を考える。</p> <p>2 聞き手にわかりやすく伝えるために必要な情報を収集する。</p> <p>3 資料や機器を効果的に活用して表現を工夫する。</p> <p>4 相手や目的に応じた伝え方を工夫してプレゼンテーションを行う。</p>	<p>[知・技] 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)</p> <p>[思・判・表] 「話すこと・聞くこと」において、資料や機器を用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(Aウ)</p> <p>[主] 積極的に資料や機器を用い、学習の見通しをもって説明や提案しようとしている。</p>	
	<p>漢字を身につけよう④</p> <p>●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)ウ)</p>	1	<p>1 中学校で学習する漢字を読む。</p> <p>2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。</p>	<p>[知・技] 第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)ウ)</p> <p>[主] 進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。</p>	
10	<p>★枕草子・徒然草【読む(古文)】</p> <p>●自然や人間に対する、筆者のものの見方や感じ方を捉える。(Cエ)</p> <p>●古人の心情を現代の自分たちとの対比の中で読み取る。(Cオ)</p>	4	<p>1 本文を通読し、内容を捉える。</p> <p>2 「枕草子」について、筆者のものの見方や感じ方を捉える。</p> <p>3 「徒然草」について、筆者のものの見方や感じ方を捉える。</p> <p>4 古人の心情を現代の自分たちとの対比の中で読み取る。</p>	<p>[知・技] 作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。((3)ア)</p> <p>[思・判・表] 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。(Cオ)</p> <p>[主] 進んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、学習課題にそつて考えを伝え合おうとしている。</p>	

月	題材名●学習目標	時	単元のねらい	評価規準	評価方法
	私の「枕草子」「徒然草」【書く】 ●日常生活や社会生活の中から題材を決めて、伝えたいことを明確にする。(Bア) ●読み手の立場に立って、表現の効果を考えながら文章を整える。(Bエ)	2	1 日常生活や社会生活の中から題材を決めて、伝えたいことを明確にする。 2 読み手の立場に立って、表現の効果を考えながら文章を整える。	【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) 【思・判・表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決めている。(Bア) 【主】粘り強く伝えたいことが明確になるように工夫し、学習の見通しをもって感じたことを書こうとしている。	観察 テスト 音読 暗誦 ワークシート スピーチ 提出物 作文 ワーク
	平家物語【読む(古文)】 ●語句の意味に注意しながら音読し、古典のリズムを味わう。(知・技(3)ア) ●場面や状況を捉え、登場人物の考え方について、自分の考えをもつ。(Cイ, Cエ, Cオ)	5	1 語句の意味に注意しながら音読し、古典のリズムを味わう。 2 場面や状況を捉え、登場人物の行動や心情について考えを共有する。 3 古典に表れたものの見方や考え方を捉え、自分の考えをまとめる。	【知・技】作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。((3)ア) 【思・判・表】「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。(Cエ) 【主】進んで文章の構成や論理の展開などを捉え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	
	漢詩の世界【読む(漢文)】 漢文の読み方 漢詩の形式 ●漢詩の表現やリズムを捉え、読みを味わう。(知・技(3)ア, Cエ) ●漢詩に描かれた情景を捉え、古人の心情を想像する。(知・技(3)イ, Cオ)	3	1 漢詩の表現やリズムを捉え、読み味わう。 2 作者の状況を捉え、心情を想像する。 3 描かれた情景を捉え、表現の効果を考える。	【知・技】作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。((3)ア) 【思・判・表】「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。(Cエ) 【主】進んで文章の構成や表現の効果について考え、学習課題にそって考えたことを伝え合っている。	
	漢字のしくみ 1 熟語の構成・熟字訓 ●熟語の構成・熟字訓について理解を深める。(知・技(1)ウ)	1	1 二字熟語の構成の型を理解する。 2 熟字訓について理解を深める。 3 「確かめよう」の課題に取り組む。	【知・技】第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。((1)ウ) 【主】進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	
	漢字を身につけよう⑤ ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)ウ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。	【知・技】第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)ウ) 【主】進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	
11	複数の情報を関連づけて考えをまとめる【情報】 共生社会に関するデータ【読む(図表)】 自立とは「依存先を増やすこと」【読む(解説)】 ●意見と根拠のなどの関係に注意して、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、考えをまとめる。(知・技(2)ア, Aオ) ●文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりする。(知・技(2)イ, Cイ, Cウ, Cオ)	5	1 資料A「共生社会に関するデータ」のグラフ3点を読み取る。 2 グラフから読み取ったことをもとに、課題について話し合う。 1 資料B「自立とは「依存先を増やすこと」」を読む。 2 筆者の考えを整理する。 1 資料Aと資料Bを関連づける。 2 課題について、自分の考えをまとめる。	【知・技】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。(Aオ) 【主】積極的に情報と情報との関係に注意して内容を解釈し、学習の見通しをもって話し合い、考えをまとめようとしている。	

月	題材名●学習目標	時	単元のねらい	評価規準	評価方法
			1 グループで話し合っ、考えを深める。		
	投稿文 情報に関連づけて根拠を明確に示す【書く】 ●多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にする。(Bア) ●自分の意見と根拠を明確にして、説得力のある文章を書く。(知・技(2)ア, Bオ)	4	1 課題について自分の考えをまとめる。 2 構成を考えて投稿文を書く。 3 推敲する。 4 交流する。	知・技 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) 思・判・表 「書くこと」において、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(Bア) 主 粘り強く材料を整理して伝えたいことを明確にし、学習の見通しをもって投稿文を書こうとしている。	
	文法の窓 2 文法のまとめ 助詞・助動詞のはたらき ●助詞・助動詞のはたらきや文の構成について理解する。(知・技(1)オ)	3	1 「文法の窓 2」で助詞・助動詞の特徴について考える。 2 「文法のまとめ」「2 助詞・助動詞のはたらき」で、助詞・助動詞のはたらきや種類について理解する。 3 「文法のまとめ」「3 文の成分の順序と照応」で、文の成分の順序や照応について理解する。 4 「文法のまとめ」「4 文の種類」で、単文、複文、重文の特徴について理解する。 5 「確認しよう2」の課題に取り組む。	知・技 助詞や助動詞などはたらき、文の成分の順序や照応など文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めている。((1)オ) 主 進んで助詞や助動詞などはたらきや文の構成について理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	
	漢字を身につけよう⑥ ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)ウ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。	知・技 第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)ウ) 主 進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	観察 テスト 音読 暗誦
12	大阿蘇【読む(詩)】 ●詩の表現技法とその効果を理解し、描かれた情景を読み取る。(Cエ) ●眼前に展開する自然の姿を捉え、想像豊かに朗読する。(Cオ)	2	1 描かれた情景を想像して音読し、眼前に展開する自然の姿を捉える。 2 詩の表現技法とその効果を理解し、想像豊かに朗読する。	知・技 類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) 思・判・表 「読むこと」において、文章の構成や表現の効果について考えている。(Cエ) 主 進んで表現の効果について考え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	ワークシート スピーチ 提出物 作文 ワーク
	言葉発見④ 類義語・対義語、多義語 ●類義語・対義語、多義語について理解する。(知・技(1)エ)	1	1 類義語・対義語について理解する。 2 多義語について理解する。 3 「確かめよう」の課題に取り組む。	知・技 類義語と対義語、多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) 主 進んで類義語と対義語、多義的な意味を表す語句などについて理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	
	小さな手袋【読む(小説)】 ●登場人物の人物像と相互関係を捉える。(Cア) ●主人公の言動に着目し、その意図や心情を読み深める。(Cイ)	4	1 作品の設定と時間の流れを捉える。 2 登場人物の相互関係を捉える。 3 登場人物の人物像を捉え、心情について考える。 4 主人公の言動に着目し、その意図や心情を読み深める。	知・技 情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。((2)イ) 思・判・表 「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。(Cイ) 主 進んで登場人物の言動の意味などについて考え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	

月	題材名●学習目標	時	単元のねらい	評価規準	評価方法
	読書活動ピリオドバトル【話す・聞く】 ●自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫する。(Aア, Aイ)	2	1 話の構成を工夫して、紹介する内容をまとめる。 2 ピリオドバトルを行う。	【知・技】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。(Aイ) 【主】積極的に話の構成を工夫し、学習の見直しをもって提案しようとしている。	
	創作文 読みたいくなるしゅみを工夫する【書く】 ●作品の魅力や特徴が効果的に伝わるように、描写や展開など工夫して書く。(Bイ) ●作品を読み合い、表現の工夫やもとの作品の生かし方などについて意見を交流し、自分の考えを広げる。(Bオ)	5	1 創作のもとにする作品と創作コースを選ぶ。 2 作品の魅力や特徴について研究する。 3 作品の特徴や魅力が伝わるように創作する。 4 作品を発表し、意見交流をとおして考えを広げる。	【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) 【思・判・表】「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。(Bイ) 【主】粘り強く文章の構成や展開を工夫し、学習の見直しをもって感じたことや想像したことを書こうとしている。	
	漢字を身につけよう⑦ ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)ウ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。	【知・技】第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)ウ) 【主】進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	
1	動物園でできること【読む(評論)】 ●文章の全体と部分との関係や、主張と例示との関係に注意して、筆者の主張を捉える。(Cア, Cエ) ●動物園に関する筆者の主張について、知識や経験と結びつけて自分の考えを深める。(Cオ)	4	1 文章全体の構成と要旨を捉える。 2 「学びの場」としての動物園の取り組みについて、本文の内容を整理する。 3 主張と例示の関係に注意して、筆者の主張を捉える。 4 筆者の主張について、自分の考えを深める。	【知・技】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) 【思・判・表】「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えている。(Cア) 【主】進んで主張と例示との関係などを捉え、学習課題にそって理解したことを説明しようとしている。	
	漢字のしゅみ 熟語の読み ●熟語の読みについて理解を深める。(知・技(1)ウ)	1	1 熟語の読みを音と訓の組み合わせのパターンから分類的に理解する。 2 同音異義語について理解する。 3 「確かめよう」の課題に取り組む。	【知・技】第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。((1)ウ)	
	論説文 構成を工夫して考えを伝える【書く】 ●伝えたい事柄がわかりやすく伝わるように、文章の構成や展開を工夫して書く。(Bイ) ●根拠の適切さや表現の効果を考えて説得力のある文章を書く。(Bウ)	5	1 課題について、自分の考えをまとめる。 2 伝えたい事柄がわかりやすく伝わるように、文章の構成や展開を工夫する。 3 根拠の適切さや表現の効果を考えて説得力のある文章を書き、読み合う。	【知・技】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) 【思・判・表】「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(Bウ) 【主】粘り強く自分の考えが伝わるように工夫し、学習の見直しをもって自分の考えを書こうとしている。	

月	題材名●学習目標	時	単元のねらい	評価規準	評価方法
通 年	漢字を身につけよう⑧ ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)ウ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。	[知・技] 第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)ウ) [主] 進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	
	走れメロス【読む(小説)】 ●人物の言動の意味を考え、人物像とその変化を捉える。(Cイ, Cオ) ●工夫された表現に着目して、文体の特徴を捉えて読み味わう。(Cエ)	5	1 人物設定と物語の展開を捉える。 2 工夫された表現に着目して、文体の特徴を捉えて読み味わう。 3 人物の言動の意味を考え、人物像とその変化を捉える。 4 登場人物の人物像について考えを深める。	[知・技] 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) [思・判・表] 「読むこと」において、文章の構成や表現の効果について考えている。(Cエ) [主] 進んで登場人物の表現の効果について考え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	
	漢字を身につけよう⑨ ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)ウ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。	[知・技] 第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)ウ) [主] 進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	
	情報誌 地域の魅力を振り返って 【話す・聞く】【書く】 ●集めた材料を整理し、伝える内容を検討するために編集会議を開き、話し合っ て考えをまとめる。(Aア, Aオ) ●地域の特色などについて、取材や調査で集めた情報を、効果的な表現になるように工夫して文章にまとめる。(Bア, Bエ)	8	1 編集会議を開き、企画を立てる。 2 情報収集を行い、レイアウトを決める。 3 記事を書いて誌面を作り、発表会を開く。	[知・技] 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) [思・判・表] 「話すこと・聞くこと」において、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(Aア) [主] 積極的に伝え合う内容を検討し、粘り強く表現の効果などを確かめ、学習の見直しをもって情報誌を作ろうとしている。	
	歌の言葉 365日の紙飛行機	-	-	-	
	書写◇	20	硬筆・・・日本生活のいろいろな場面に応用できる美しい文字の書き方を学ぶ 毛筆・・・基本点画をもう一度練習しながら、さらに上級の課題に取り組んでいく。	丁寧に美しい文字を書くという目標を達成している。	

◆=定期考査 ◇=道徳 ★=オリパラ ☆=人権

評価計画(各観点の評価方法)

観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値を認識しようとしているとともに、読書を生活に役立て、言葉を適切に使おうとしている。
評 価 の 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物 (ワークシート、作文) ・書写 ・小テスト、定期テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物 (ワークシート、感想、作文) ・発表 (スピーチ、ディスカッション) ・小テスト、定期テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度(自己評価を含む) ・発言内容 ・提出物 (ワークシート、感想、作文、 振り返りシートなど) ・小テスト、定期テスト

学習のアドバイス

(1) 授業態度

- ・積極的に発言をするなど、進んで授業に参加している。
- ・分からないところは自ら先生に質問したり、調べたりする。
- ・集中して授業に臨み、先生の話や仲間の意見から学ぼうとしている。
- ・板書されたものをノートに書くだけでなく、先生の話や仲間の意見からメモをとる。

(2) 提出物

- ・提出物を計画的に行い、期日を守って提出する。

(3) 単元ごとのふりかえり

- ・自分の課題を把握して、それを改善しようとする。
- ・学習したことを次の単元に生かそうとする。